

神戸薬科大学 A棟



外観

「神戸薬科大学」は、六甲山系の麓に立地する薬系単科大学である。このたびA棟を新築。入口には、各校舎へアプローチできる学生のメイン動線としてエスカレーターを設置している。



神薬リビング

メインホールである2層吹き抜けの「神薬リビング」は、各校舎へのメイン動線となる。書籍などが配架され、ソファークッションや観葉植物が配置されたくつろぎの空間の中、学生たちは気軽に本に触れることができる。



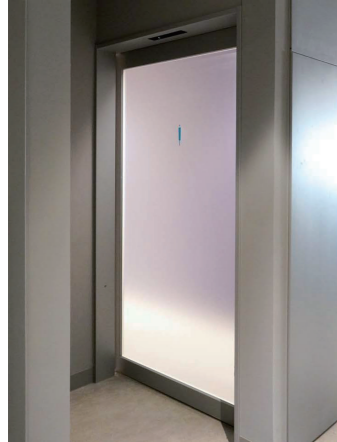
トイレ入口

神薬リビングから壁を1枚隔てた先に、トイレを配置。隣接する神薬リビングからも、トイレの入退室が、見えにくいレイアウトとして、利用者のプライバシーに配慮している。



トイレ前通路

トイレ前通路は、利用者同士のすれ違いに配慮し、二方向から出入りが可能なレイアウト。中央にバリアフリートイレと男女共用トイレ、両端に男性・女性トイレを配置している。



男性トイレ 入口

衛生配慮の観点から、非接触を考慮。さらに既存建物のトイレとの差別化を図るため、トイレ入口には、自動ドアを採用している。



男性トイレ 洗面コーナー

男性トイレにおいても、手洗いやデンタルケアの際などの利便性から、手荷物が置ける棚が必要とし、ドライエアが設けられたツインデッキカウンター（陶器タイプ）を採用。利用者の荷物置きに配慮している。



男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。また、小便器の仕切りは天井までとし、プライバシー感を高めるとともに、清掃性を考慮し床との間には隙間を設けている。



男性トイレ 大便器コーナー

大便器は床の清掃性がよい、壁掛式の大便秘器ユニットを採用。また、ウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や電池交換が不要なエコリモコンを選定している。



男性トイレ スタイルコーナー

性別を問わず、美容に関心を持つ人が多くなった昨今の社会的背景を考慮し、男性トイレ内にもスタンディングタイプのスタイリングコーナーを設置。さらに身繕いがチェックできる全身鏡を設置している。



女性トイレ 入口

男性トイレと同様に、トイレ入口は衛生性に配慮し、非接触で使用できる自動ドアを設置している。



女性トイレ 全体

学生と教職員によるワークショップを開催し、募った意見を設計やデザインに反映。大学の学花「桔梗」をイメージした紫、「六甲山」から想起される緑を基調とし、ブースの黒と陶器などの白でコントラストを強調している。



女性トイレ 洗面コーナー

トイレ内での動線をスムーズにし、混雑緩和を図るためアイランド型の洗面コーナーを設置。上質な空間イメージを作るため、間接照明とあわせてベッセル式洗面器を選定している。



神戸薬科大学 A棟



女性トイレ
スタイリングコーナー

洗面コーナーの背面に、スタンディングタイプのスタイリングコーナーを設置。カウンター下には荷物置きに配慮した棚を設けている。また、化粧直しで手が汚れた時に使用できる手洗いコーナーも設置している。



女性トイレ
大便器コーナー



清掃性とメンテナンスのしやすさからシステムトイレを採用。ウォシュレットは、貯湯式のウォシュレットPSを設置。洗浄スイッチは衛生性に配慮し、手をかざして洗浄ができるセンサースイッチを採用している。



女性トイレ
フィッティングルーム

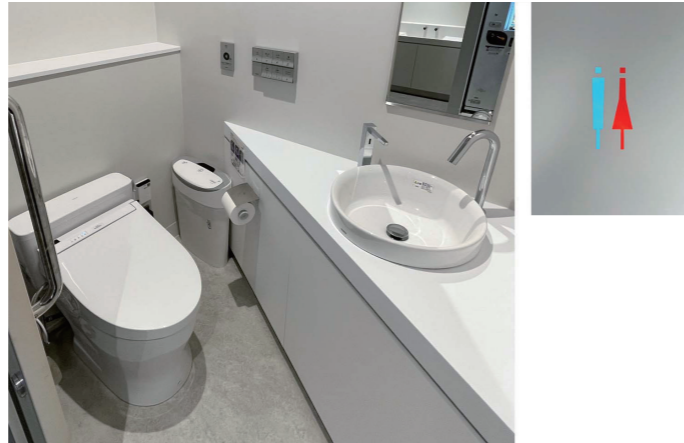


就職活動などでの衣服の着替えに利用できるよう、フィッティングルームを学内で初めて設置。ゆったりとした空間を確保し、靴を脱いで快適に着替えをすることができる。



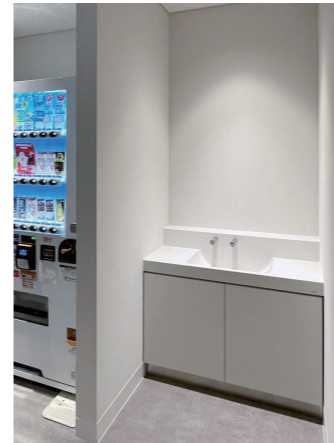
バリアフリートイレ

学生や教職員のみならず、来校者も利用する施設であることから、車いす使用者やオストメイトに配慮し、汚物流しを備えたバリアフリーユニットを設置している。



男女共用トイレ

社会的背景から性的マイノリティに配慮したトイレの設置は必須と考え、男女共用トイレを1ヶ所設置。ピクトグラムのモチーフには、ビーカーやフラスコといった実験器具を用いて、薬科大学らしいデザインとしている。



トイレ通路
手洗いコーナー

衛生配慮の観点から、トイレの中に入らずに手洗いやうがいができる、手洗いコーナーをトイレ前通路に設置。非接触で使用が可能な自動水栓と自動水石けん供給栓を設置している。



防犯対策

防犯対策として、バリアフリートイレと女性トイレのスタイリングコーナーに呼出ボタンを設置。トイレ前通路のフラッシュアラームとともに警備員室に発報することで、迅速に対応できる体制を備えている。



突き出しサイン

生地裏側に印刷したピクチャーを重ねることで、上品なモアレにより動きのあるデザインを創出した、意匠性の高い突き出しサイン。「WC」の文字のみ表面印刷され、明瞭に表示されている。



トイレ図面

男性・女性トイレのほか、多様な利用者に対応するバリアフリートイレや男女共用トイレ、手洗いコーナーを設置。スタイリングコーナーやフィッティングルームも設置され、目的に応じた空間が快適性を向上させている。

水まわりの特長

建物の特徴

2022(令和4)年に創立90周年を迎えた「神戸薬科大学」は、六甲山系の麓に建つ薬系単科大学。山麓という立地から、校内の建物の間には約60m高低差があるが、内部のエレベーターおよび校舎間の渡り廊下により、登坂を伴わず往来できる。また校内からは、六甲山を背景に神戸市中心部から淡路島、関西空港付近、紀伊半島まで見渡すことができる。新たに竣工したA棟の中央には、メインホールである2層吹き抜けの“神薬リビング”が配され、これに面して大講義室、多目的室、実習室、自習室、学生支援センター、レンタルラボなどをスケルトンで配置。さらに、デジタルコンテンツや書籍が配架されているほか、イベントを開催することも可能であり、本学の情報発信の中心ともなっている。

水まわりの特長

神薬リビングに隣接するトイレには、神薬リビングでくつろぐ学生や教職員のみならず来校者の利用を考慮し、男性・女性トイレのほか、バリアフリートイレ、男女共用トイレ、手洗いコーナー、自動販売機を配置。「みんなで作る」という設計コンセプトのひとつに則り、A棟においては、これまでのトイレ計画ではなしなかった段階から、トイレの充実を検討し、設計に反映。特に、本学初となるスタイリングコーナーについては、学生と教職員によるワークショップを開催し、神戸薬科大学らしさを表現したイメージボードを作成。デザインや仕様、設えについての提案や意見交換を行った内容が反映されている。トイレ同様に講義室やホール、自習室にもこのワークショップから得られた成果が活かされている。

建築概要

名称	神戸薬科大学 A棟
所在地	兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1
施主	学校法人 神戸薬科大学
設計	株式会社 竹中工務店
施工	株式会社 竹中工務店
竣工年月	2024年3月
敷地面積	35,281.36㎡
建築面積	2,420.15㎡
延床面積	8,950.26㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上7階

おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNC1B
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534A
小便器ユニット:UTNU1N
洗面器ユニット:UTNL1C
ツインデッキカウンター(ポウルー一体タイプ):MKWF
洗面器:LS707、LS703
電気温水器:REWF03B1RSM
自動水石けん供給栓:TLK08S12JA、TLK08S08JA
バリアフリーユニット:UTND1A
化粧鏡:YM6090F